

会 議 録

1 会議名

令和5年度第8回谷浜・桑取区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【報告事項】

- ・地域独自の予算事業一覧について（公開）

【協議事項】

- ・地域協議会活動報告会について（公開）

【自主的審議事項】

- ・伝統行事、史跡、文化の継承について（公開）
- ・来訪者を受け入れるための地域づくりについて（公開）

3 開催日時

令和6年2月19日（月）午後6時30分から午後8時00分

4 開催場所

上越市立谷浜・桑取地区公民館 大会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員： 坪田 剛（会長）、金森幸雄（副会長）、安達麻美、齊藤徳夫、
佐藤寿美子、佐藤峰生、田村 隆、寺島和枝、荷屋和夫、平野コトミ、
水寫豊秋、横田正美

- ・事務局： 北部まちづくりセンター：佐藤所長、近藤副所長、小川係長、丸山主任

8 発言の内容

【近藤副所長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【坪田会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：寺島委員に依頼

議題【報告事項】地域独自の予算事業一覧について、事務局へ説明を求める。

【丸山主任】

- ・資料No.3 「令和6年度地域独自の予算事業」に基づき説明

【坪田会長】

意見、質問を求めるがなし。

【協議事項】地域協議会活動報告会について、事務局へ説明を求める。

【丸山主任】

- ・資料No.1 「谷浜・桑取区地域協議会活動報告会について」、「谷浜・桑取区地域協議会第4期活動報告（案）」に基づき説明

当日は、こちらの資料と今お手元に配布した公募の概要により説明をしたいと考えている。

【坪田会長】

素晴らしいレジメを作成していただき感謝申し上げます。

ただいまの説明に関して質問等を求めるがなし。3月2日に使用する資料でもあるので、気づいた点、思い立った点があれば挙手を願う。（意見なし）

次に、【自主的審議事項】伝統行事、史跡、文化の継承について、及び来訪者を受け入れるための地域づくりについて、事務局へ説明を求める。

【丸山主任】

地域生き生き部会では、2月10日に横畑集落の小正月行事「馬」が執り行われたことから、当日見学された委員がいれば、活動等を部会の中でも報告いただきたい。また、地域活性化の方向性における構成要素の中で、今期は伝統行事、史跡、文化の継承について、これまで自主的審議事項として審議し、地域の団体との意見交換なども行ってきた。これまでの協議、意見交換などの取組を振り返りながら、自主的審議事項の今後の方向性、また来期以降も継続するか、一定のめどが立ったということで終了とするかについて、取扱いを部会の中でまずご協議いただきたい。

- ・資料No.2 「【自主的審議事項】来訪者を受け入れる地域づくり 谷浜・桑取区地域協議会 来訪者アンケート実施要項（案）」に基づき説明

魅力活用部会では、これまではアンケートはたにはま公園でのアンケートということで、地域協議会の委員の皆様がインタビュー形式によって訪れた方々にアンケートを行うということで取り組んできたが、くわどり湯ったり村、平左衛門カフェ、また民間の方から管理していただいているところもあるので、それぞれの施設管理者との協議が必要になると考えている。そういった施設管理者との協議の進め方について打合せをしていただきたい。

両部会の共通として、今期の振り返りをお願いしたい。自主的審議事項の協議が終了し、時間があれば、各構成要素のふりかえりシートをご用意させていただいたので、今年度の協議のまとめや、今期は手をつけなかったが来期この部分を深掘りしていただきたい等、委員の皆様でご協議いただきたい。

【坪田会長】

意見をお伺いする前に、前段で事務局から報告があった2月10日に横畑集落で小正月行事「馬」が平左衛門カフェで行われたが、出席した方はおられるか。なにか意見やがあれば、一言でも二言でも結構なので皆さんにお伝えいただきたい。金森副会長からお願いしたい。

【金森副会長】

10日に横畑の伝統行事「馬」を見学させていただいた。80名くらいの方が観覧されたということで、非常によかった、素晴らしかったと私は思った。中学生の子供たちも元気よく跳ねてくれたし、横田委員も年を召してこられたが鞭打って跳ねていただき、後輩の指導も非常に細かく立派にやっていただけたと思う。NPOがほとんどバックアップされて、地元の人たちがそれに協力しているということで、協議会だけでこれだけの行事をこなすのは、少し荷が重いのではないかと思った。これから、NPO等の関係団体とつながりをきちんと大きく、太く保ちながらやっていかないと、だんだん少子化も進んでいるし高齢化も進んでいる中で、幅広くつながりを持っていかないとなかなか実施が難しいのではないかという感じが少しした。当日は非常にいい天候に恵まれ、足元も良く、私らもお手伝いできるものがあればと申し上げたが、準備万端すべて整っていて、私はただ楽しんで見てただけである。非常にいい行事である。今後もぜひ続けていただきたいし、応援していきたいと思った。

【佐藤寿美子委員】

住んでいるのに、初めて見させていただいて、すごいものだと感じた。飛ばないかと

誘われたが、無理だと思って断らせていただいた。体力が10年前ならあったと思う。子供たちも頑張って飛んで、すごい高さ飛んでくれたので大変だったと思うし、学校の先生も応援しながら、「頑張れ、頑張れ」って言って飛んでいた子供たちを見て、本当に頑張ったと思った。続けてもらうにはいいと思う。

【坪田会長】

飛んだ当事者からお伺いしたい。

【横田委員】

2月10日の「馬」を見に来てくださった方々に感謝申し上げます。今のNPOが主催するようになったのが、平成15年からなのでもう20年ぐらいになる。大昔、私が中学生の頃は全部の集落を飛んでいたが、なにしろ人口が少なくなって中断していたのを、平成15年からNPOが主催してやってきた。飛び手の人間も地元の桑取だけでは少なくなり、2月10日の場合も中川市長とご家族が1組目で飛んでいただいて、あと上教大の職員とその関係で、この春から地元上越の教員になる大学4年生の男の子が2人、それと地元の谷浜、桑取の有志、潮陵中学校の生徒の皆さんにも飛んでいただいた。地元の間が披露するというよりは、どちらかという体験型というか、参加していただいて、いろいろこういう行事があるということを知ってもらうという感じに最近は変わってきている。テレビや新聞にも取り上げられて、私の職場でも「見たよ」「インタビューされてましたね」と去年もそのような話もあり、地元以外の上越のほうでも知られてきたのではないかと思います。ただ今後いろいろ運営する意味で、具体的に費用面等あるかと思うが、そこらへんはNPOと相談したり、今後の方向づけがこれからの課題で、意見を聞いていけたらと思っている。

今年もなんとか無事に、怪我することなく終わったのでよかったと思っている。

【坪田会長】

今3名ほどからお話いただいて、大体風景がよみがえってくるような感じ、素晴らしいものだと思っている。

意見、質問を求めるがなし。

それでは部会別協議に入る。地域生き生き部会は、会議室の後方のテーブルへ、魅力活用部会は会議室前へ移動し協議を始めていただきたい。部会別協議の終了時刻は、おおむね19時40分まで、45分ほどあるが協議を重ねていただきたい。

— 部会別協議 —

協議の内容を報告していただきたい。初めに、地域生き生き部会からお願いしたい。

【水嶋委員】

今回は先日「馬」が行われたので、その内容を聞いたり、どういう支援の方法があるかということで話し合ったが、今回は非常に盛況だったということである。どのように今後につなげていくかということだが、運営主体が私たちではない、主にNPOがやってくさっているので、支援を今後どうしていくか、特別なこともできないので、参加することが一番の応援ではないかということになった。この地域生き生き部会の、自主的審議事項は、今後どういうふうにしていくか。一旦ここで、この伝統行事の自主的審議事項は、中途半端な形だが話合いは終わりにして、他の審議事項に取り組んでいければというところである。

【坪田会長】

今の部会長からの説明について、質問等を求めるがなし。

続いて、魅力活用部会から報告をお願いしたい。

【佐藤峰生委員】

アンケートの実施要項について、最終確認をさせていただいた。先ほど説明があったように赤字の内容を盛り込んだ形で、実際には新しく選任された委員の方が中心となって実施するということになるので、新しい委員の方に無事に引き継ぎができるような形でということで、このスケジュールに基づいた形で進めていくということで確認を取った。アンケート（案）のほうで、土壇場になってからで非常に申し訳ないが、少しおかしいのではないかということで再検討させていただくことになった。当初はアンケートをたにはま公園で実施するというので進めてきたので、その前提でアンケートの質問事項を設定したが、実施要項にもあるように、くわどり湯ったり村、平左衛門カフェ、有間川漁港でもということで場所が追加になったので、たにはま公園以外の場所で聞くと、質問事項がそぐわないところがある。具体的には、アンケートの案を見ていただきたい。「谷浜・桑取区地域協議会では『来訪者を受け入れる地域づくり』について検討しています。たにはま公園を訪れた」という表現になっている。平左衛門カフェに来られた方に聞くと、これではおかしいということで、ここは「谷浜・桑取区を訪れた」という形に変更をすべきではないかということである。それと、1ページ目に「たにはま公園について」という説明がある。これもそぐわない形になるので、「たにはま公園に来たことがありますか。はい、いいえ」の説明を追加して、はいの方については、①から⑥

の設問に進む。いいえという方については、裏面の⑦に進む。平左衛門カフェとくわどり湯ったり村については、アンケート用紙を置いておき、書いていただくようになるので、そういう形にしてわかりやすくするということである。平左衛門カフェに来られた方が、たにはま公園に来たことがある方もいらっしゃる。そういう方については、「たにはま公園に来たことありますか」で「はい」に丸がつく。その方が進んだときに、「誰と来ましたか」という表現ではおかしい。「誰と行ったことありますか」という表現を①②④に追加して、たにはま公園以外で答えていただく方がわかりやすいような表現を追加するというので、変更が必要だということを確認を取らせていただいた。裏面、⑦から⑩についてはこのままである。時間の関係でまとめきれない部分もあったが、アンケートの実施については今お話したような内容で、まだ最終まとめが来月あると思うので、そこでまとめて引継ぎができるようにしたい。方向性の振り返りは時間がなくなかったので、来月させていただきたい。

【坪田会長】

自主的審議事項について、来期に向けて今回はここまで精一杯やったのだから終了とするのか、いろいろな問題がまだ提起されているので継続して委員間で協議をしていただくのか、各部会での協議状況を報告いただきたい。

【丸山主任】

今ほど各部会からの報告でも、まず地域生き生き部会においては、自主的審議事項として会での協議は一旦ここまで、終了としたらどうかという話だと思う。また魅力活用部会の自主的審議事項については、来期実施に向けて今まで話し合いを進めていたと思うので、こちらについては継続という取扱いになると認識している。それでよいかを、また委員の皆様でご確認いただきながら決定していただきたい。活動報告会の資料の中でも、両方現時点では継続審議という形にさせていただいているが、今の話し合いを反映した形で当日はご用意したいと考えている。

【水嶋委員】

地域生き生き部会もいろいろ話し合ってきたが、この中だけで結論を出せるというテーマでもないし、かといって、先日報告があったように、地域協議会だよりを活用して皆さんに宣伝するのも困るところもあり、中途半端な部分もあるが、今のところNPOが、いろいろな地域の伝統文化を伝えてくれているので、それを温かく見守っていけばどうかと思う。かといって、私らでなにかできるかということ、なかなか難しいも

のがあると思う。皆さんからこの地域にある行事を見てもらったり、参加してもらっただけでも、きっと進んだのではないかと思うので、ここで一旦終了にして、次期の方がもっと深掘りすればというご意見があれば、そこでまた深掘りしてもらえればそれでいいのではないかと思う。地域生き生き部会が取り組む構成要素は、そればかりではないと思う。

【坪田会長】

当然いろいろな行事についても、委員の方の協力はやぶさかではないが、今部会長さんからそのような話があった。委員の皆さんも、それでよろしいか。(はいの声)

魅力活用部会はどのような意見か。

【佐藤峰生委員】

先ほど説明したように、新しい委員にアンケートの実施について無事にバトンタッチができるようにしたい。実施にあたっては、旧委員も協力できる部分は協力していかなければいけないと思っている。

【坪田会長】

まだ煮詰める部分が残されているということである。

【丸山主任】

今ほどの各部会長さんからのお話も含めて、自主的審議事項についてこのような取扱いでよいかどうか、区切りということもあるので決を採っていただきたい。

【坪田会長】

委員の方それぞれの意見があるとは思いますが、事務局から今後も継続、または終了について賛否を取りたいということである。

地域生き生き部会は終了。魅力活用部会は継続。そのような取扱いでよいという方は挙手をお願いしたい。(全員挙手) 全員一致なので、そのようにお願いしたい。

その他について、事務局からなにかあるか。

【丸山主任】

先ほどの自主的審議事項の扱いについては、報告会の資料にも反映させていただきながら、当日ご用意したいと思う。

その他については3点あり、まず1点目が、前回の会議で消防団の再編の話を報告させていただいた。その中で田村委員から関連してということで、地域の中にある消火栓の取扱いは今どうなのか、一般の住民も使っているのかを確認したいという話があった。

担当部局に現在の取扱いなどについて、事務局で確認させていただいたので読み上げる。

一般市民の方が消火栓を使用すること自体は、法令上制限はされていないが、市としては、従来一般市民の方による消火栓を使用した消火活動は、危険を伴うことから推奨はしていない。消火栓を使つての消火活動は、消防署や消防団の団員が、訓練を行った上で安全を確保して消火を行うために設置しているというのがそもそものところである。こういったものの取扱いについては、令和2年度以降、町内会長宛に防災訓練に関する文書を通知する際に、消火栓を使用した消火活動は、消防署、消防団に任せるようにとお示ししている。消火栓を使わなければならない規模の火災になると、大変危険を伴うため、消防署の職員や消防団の団員が着用している防火衣、燃えない、燃えにくい難燃素材の防火衣を装備せずにそういった活動をすると、最悪命を落としてしまう恐れもあるため、そういった規模の火事になった場合は、消防署、消防団の消火活動にお願いするようにしていただきたい。住民の皆様が普段からできることというと、日頃から火災予防に努めていただき、もしものときには速やかに119番通報と、消火器や水バケツなど、まだ住民の方々でも対応可能な範囲での初期消火、そして避難誘導などを行っていただくということをご理解いただきたい。拙い説明であるが、担当の文書の内容は以上である。

【坪田会長】

質問等はあるか。

【水嶋委員】

少し見ただけだが、先月か今月の議会報告かなにかに、どこかの区から田村委員と同じような、消火栓を使わせてもらえないのかといった要望が出ていた。回答は載っていなかった。

【丸山主任】

議会だよりと思われる。掲載内容は把握していないが市の説明としては一貫しており、消火栓を使用した消火活動は、やはり専門の訓練を重ねた方が、相応の装備をした上で実施することを想定しており、「この地域はいいですよ」といったこともできないので市の指導に準じていただきたい。

【坪田会長】

他に意見、質問を求めるがなし。

事務局から活動報告会と今期の活動について説明を求める。

【丸山主任】

- ・活動報告会：3月2日（土）午後1時30分から

この会場で開催するので、委員の皆様も出席をお願いしたい。当日欠席する場合は、前日までに事務局へ連絡いただきたい。

今期の活動については、全体で集まる機会は3月2日土曜日の活動報告会をもって終了としたい。地域生き生き部会では、今回の自主的審議もここまでとしたので、これからまたなにかといっても委員の任期も終わるということで、ただ部会ごとに集まり協議を行いたいということであれば、部会長から事務局へ連絡いただければ日程調整の上ご案内を差し上げることもできると思う。3月、4月とまだ皆様の任期は残されており、その任期中に関係課からどうしてもこのタイミングで報告に来たいということがもしあれば、招集させていただくこともあるのでご承知おきいただきたい。先ほどの自主的審議事項の魅力活用部会からの報告の中で、アンケート（案）に修正を加えたいということがあった。こちらの取扱いは、今お聞きした内容と部会別協議の内容を確認させていただき、アンケートの修正案をまず作らせていただきたいと思う。3月2日の報告会終了後に魅力活用部会から残っていただき、皆さんから少し揉んでいただく。そうすれば、また改めて集まっていただくのも回避できるかと思う。事務局で修正案を作成させていただくが、お気づきの点などがあれば、事務局までご連絡いただきたいと思う。

【坪田会長】

疑問点、質問等を求めるがなし。

2日は欠席せずに全員出席をお願いしたい。新しい方の説明もあるが、まだ頑張りたい方はそのへんを頭に置きながら引き継ぎ、バトンタッチをお願いしたい。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 北部まちづくりセンター

TEL：025-531-1337

E-mail：hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。